

平成26年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	第二回「千両千両 井月さんまつり」の開催
事業主体 (連絡先)	千両千両 井月さんまつり実行委員会 (0265-78-4111 内線 2723 原)
事業区分	(3) 教育、文化の振興に関する事業 (6) エ 商業の振興
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,633,814円うち支援金額1,486,000円

事業内容

井月関連展示を市役所・図書館・創造館・生涯学習センター・きたっせ等で行った。公演「津軽三味線と民謡公演 二代目高橋竹山 放浪と東北をうたう」では、井月が愛したという風羅念仏を現代風にアレンジして再現、井月シンポジウム「井月と放浪の俳人たち」では6人のパネリストによる井月に関する討論が行った。信州伊那井月俳句大会では、過去最高の投句数(一般:1763句)となり、大会の中で石寒太氏講演「放浪の系譜を継ぐもの～惟然・井月・山頭火・放哉～」、物販ブースでの井月関連商品の販売を行い、すそ野の拡大を図った。また、10月には井月句碑めぐりも行った。



展示ー井月常設展の充実

井月シンポジウム

俳句大会

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- ① 信州伊那井月俳句大会 高校一般の部の投句者が前年比 23.4%増えた。北は北海道、南は九州まで幅広く投句があった。
- ① 大会当日の参加者、前年比4%増
- ② 地域への宿泊者数、大会参加者の13.6%
- ③ 句碑めぐりの開催 参加者数18人
- ④ 井月シンポジウムの開催 参加者数約100人

【目標・ねらい】

- ① 全国からの誘客
- ② 大会参加者の増
- ③ 地域への宿泊者の増
- ④ 景勝地・観光地等の周遊増
- ⑤ 井月研究の推進

※自己評価【 B 】

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

事業の効果として、投句者数は予想以上に増えたが地域振興の取り組みが不十分であった。

今後、俳句大会の更なる規模拡大と、大会参加者を関連事業に誘客する事業展開を考えたい。つまり、外部から伊那へ来る方をさらに増やし、吟行(観光)・宿泊などへつなげることで地域振興を図りたい。また、ターゲットの確認・絞り込みを再度行い、専門性の高い事業の企画と、すそ野拡大をする事業の企画に取り組みたい。

【理由】

俳句大会・シンポジウム・公演では予想以上の参加が得られ、井月顕彰の面では目標以上の成果を上げたが、地域振興の観点では企画・検証が十分でなく、目的達成が不十分であったと考えたため。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」: 予定を上回る効果が得られた 「B」: 予定していた効果が得られた

「C」: 一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある